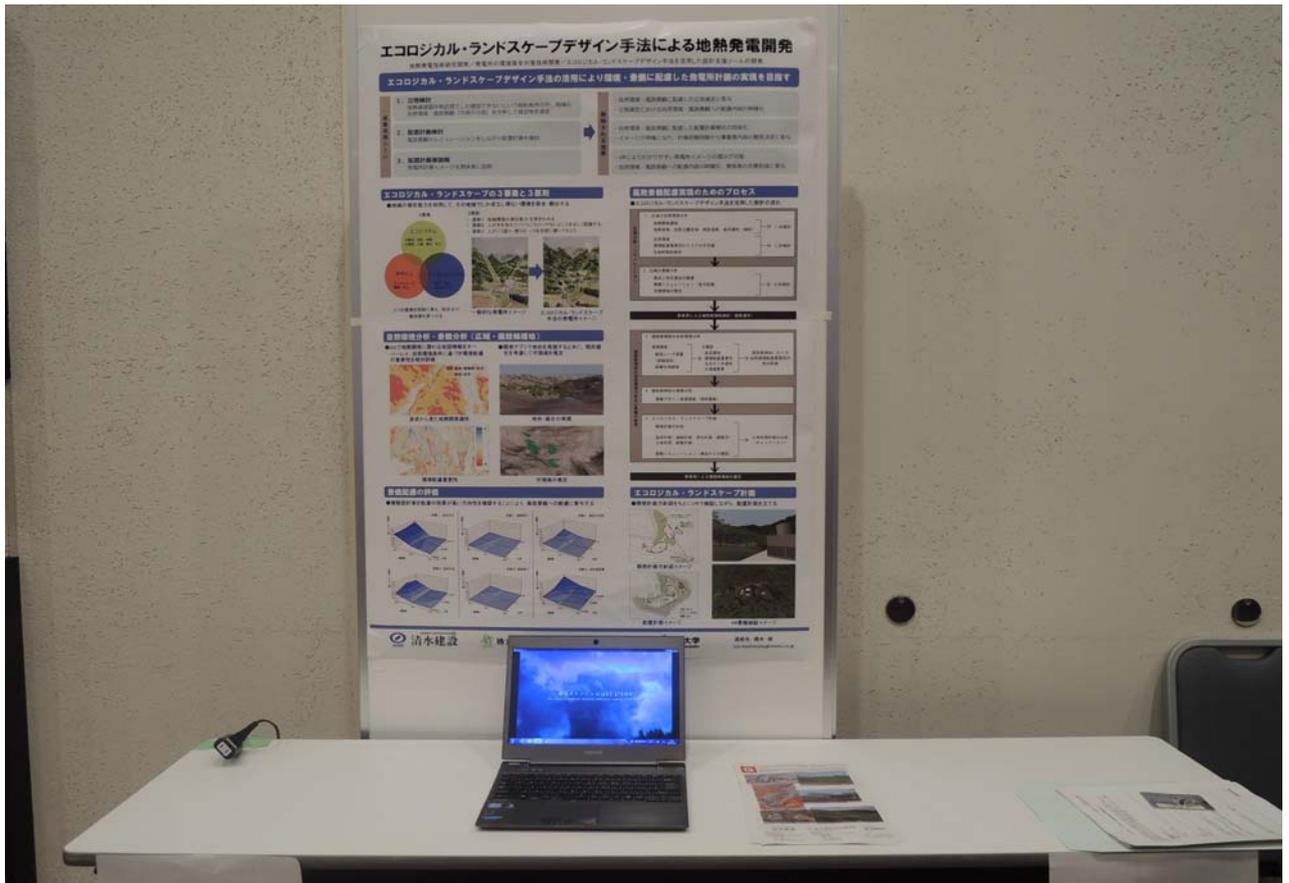


2018 年 J E A S 第 14 回技術交流会 展示発表

No.	展示会社・団体	展示内容
3	<p>清水建設株式会社, 株式会社風景デザイン研究所</p> <p>「エコロジカル・ランドスケープデザイン 手法を活用した地熱発電所計画地のシミュレーション支援ツールの開発」</p>	<p>日本国内では地熱賦存量の約 80%が自然公園区域内にあるとされる。環境省による通知により、国立・国定公園内の第 2 種・第 3 種特別地域でも特段の取り組みが行われ、真の「優良事例」としてふさわしいと判断される場合には地熱開発が可能となった。</p> <p>この特段の取り組みの要件の 1 つに「自然環境、風致景観及び公園利用への影響を最小限にとどめるための技術や手法の投入」が挙げられている。</p> <p>そこで、地形や現地植生に関する既存公開データをもとに、発電所の可視領域を推定でき、主要な視点や発電所からの景観の見え方を予測できるバーチャルリアリティのソフトウェアを開発した。</p> <p>これにより景観影響の把握ができ、風致景観への配慮に寄与するほか、検証結果の可視化により環境アセスへの対応や利害関係者との合意形成にも貢献することが期待できる。このソフトウェアの概要を説明したビデオを展示して、理解を深めてもらう。</p>

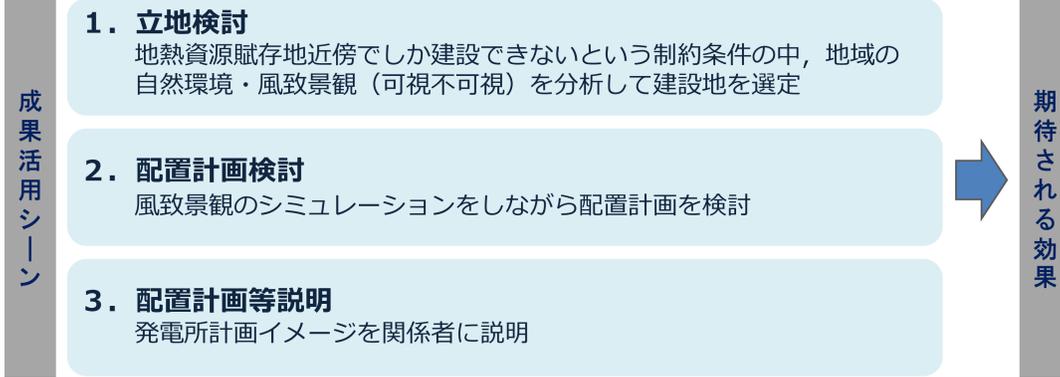
展示風景



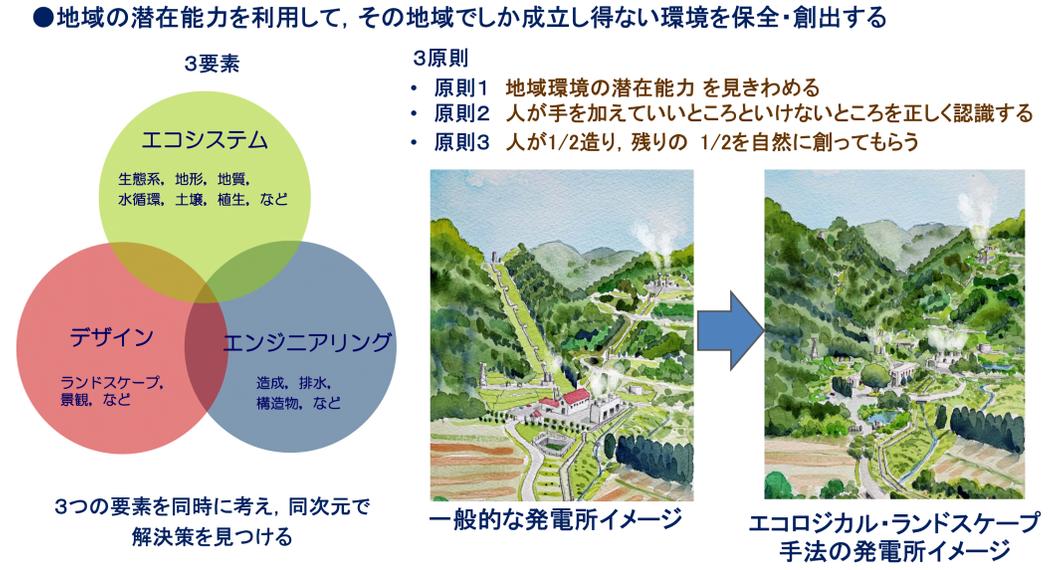
# エコロジカル・ランドスケープデザイン手法による地熱発電開発

地熱発電技術研究開発／発電所の環境保全対策技術開発／エコロジカル・ランドスケープデザイン手法を活用した設計支援ツールの開発

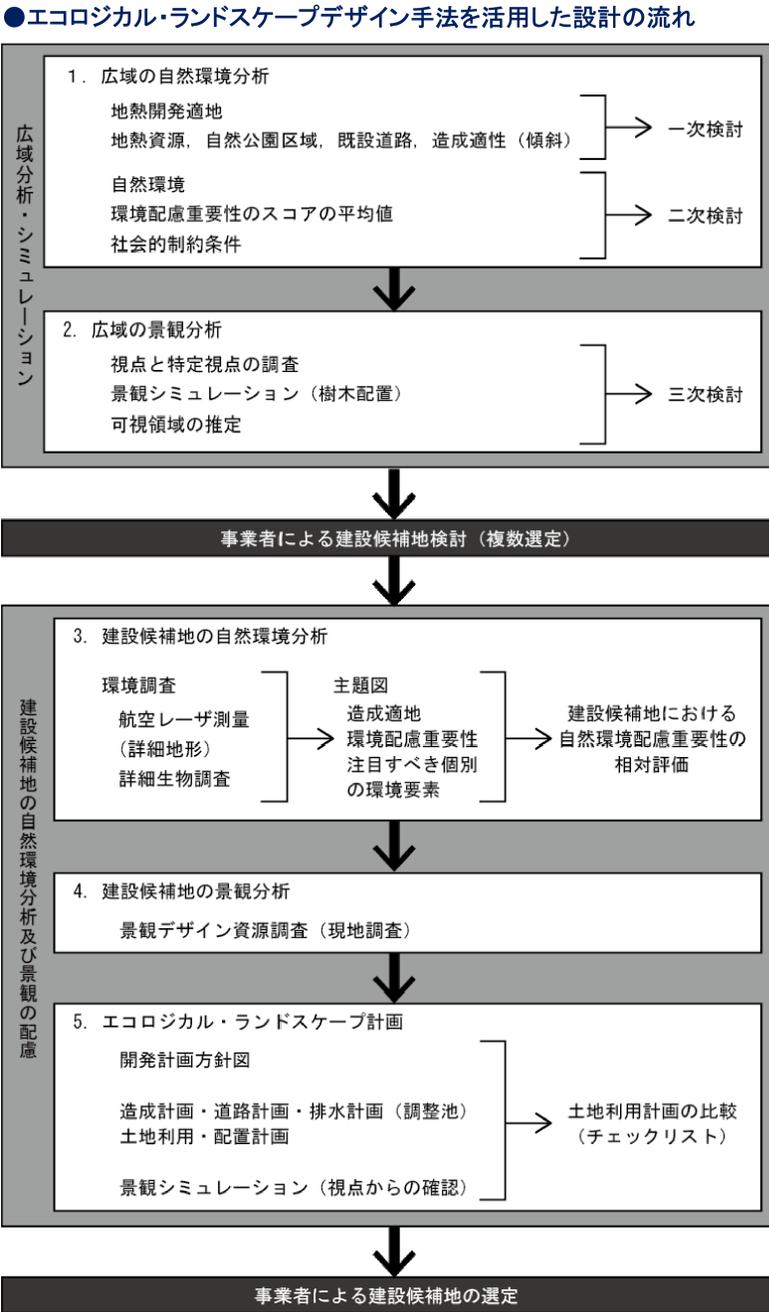
## エコロジカル・ランドスケープデザイン手法の活用により環境・景観に配慮した発電所計画の実現を目指す



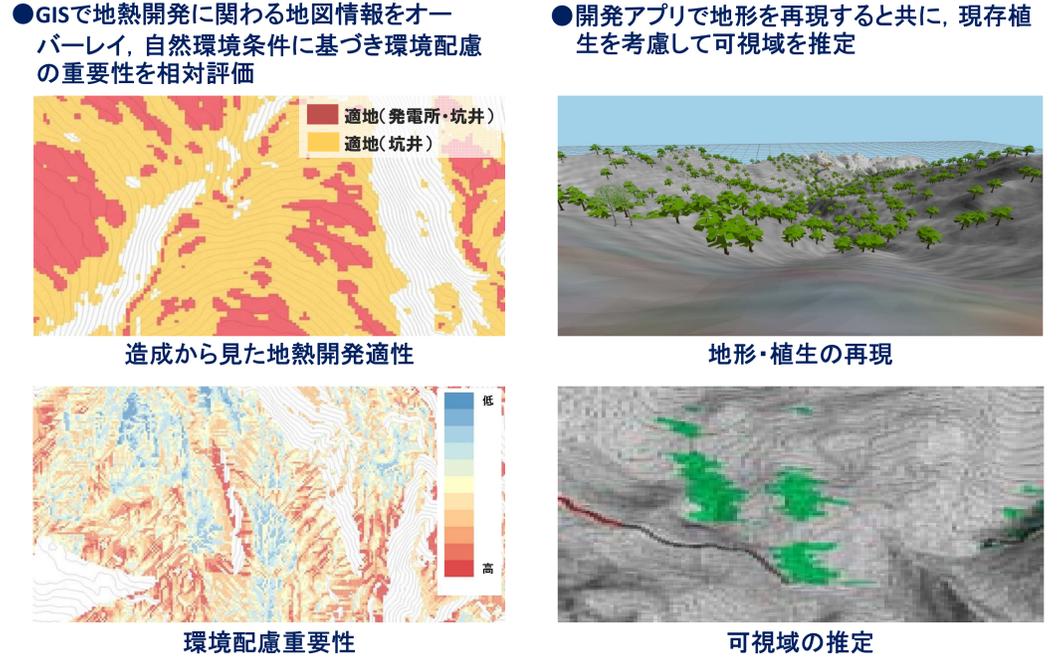
## エコロジカル・ランドスケープの3要素と3原則



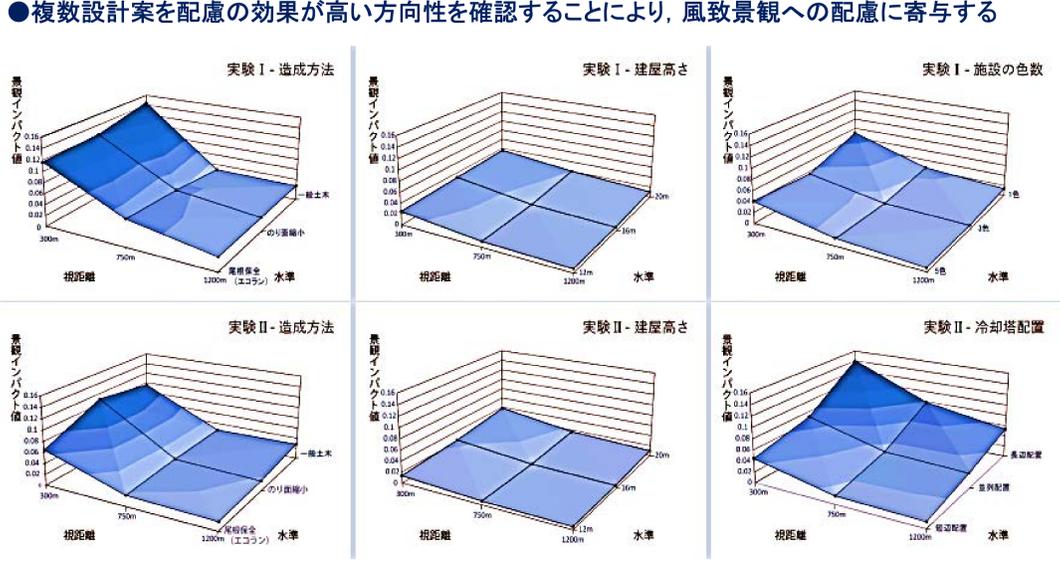
## 風致景観配慮実現のためのプロセス



## 自然環境分析・景観分析（広域・建設候補地）



## 景観配慮の評価



## エコロジカル・ランドスケープ計画

